

岡崎城南 RC2011-2012 年度第 1 回クラブアッセンブリー

2011 年 4 月 19 日（火） 19：40-20：30

< 2011-2012 年度 会長方針 >

岡崎城南ロータリークラブの第 23 代会長を拝命し、身に余る光栄とその重責を感じる日々、” The Rotarian” に掲載された RI 会長のインタビュー記事には深く感銘するものがあり、この一年の進むべき道を照らされたかのようにであった。

「私は、ロータリーの活動を信じる一人の善良な人間として、するであろうことを行ってきたまでです。・・・私は RI の会長になろうとしたのではなくて、良いロータリアンになろうとしたのです。」また、「人生は単純です。それを難しくするのが人間なのです。」と、意味深さに心が清められる思いであった。” Pure Banerjee” と、評される人ならではの言葉であった。

一方、第 2760 地区のガバナーは、80 歳のご高齢ながら、日本有数の地区となるようにロータリー活動に夢をもち、会員増強に情熱を燃やされていることを PETS の席上熱く語られた。

このようなリーダーシップの下に、長野前会長の「楽しい例会」を継承し、一年をロータリアンと共に「奉仕の理想」に邁進したいと考える。

I) RI 会長 カルヤン・バネルジー Kalyan Banerjee 氏

(インド、バピ RC) のテーマは、
「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach Within to Embrace Humanity」であり、
ロータリーの奉仕において下記の 3 つの強調事項を掲げた。

- 1) 「家族」；” 奉仕の原点として、強い家族を築く”
- 2) 「継続」；” 私たちが一番得意とすることを継続する”
- 3) 「変化」；” 変える必要があることは変える”

<クラブの奨励項目>

- ・ RI 財団年次プログラム基金への 100%の参加（金額は問わず）
- ・ 同基金へのクラブ寄付において、一人あたり平均 100 米ドル
- ・ 少なくとも会員 1 名純増、85%の会員維持率
- ・ 女性会員、若年層（45 歳以下）、RI 財団学友の入会
- ・ 会員基盤の多様性を増す（職業、性別、年齢など）

<奉仕部門の奨励項目>

クラブ奉仕)

- ・ 40 歳未満の新会員の入会、会員数の純増
- ・ 会員実数の最低 85 %を維持
- ・ 3 年間のクラブの長期計画、年次目標と長期目標を定める
- ・ 公共イメージキャンペーンを立ち上げる
公共奉仕広告を少なくとも 1 回掲載
- ・ 「家族」が参加する奉仕または親睦行事を 3 回実施する
- ・ 指導者養成プログラムを採用
- ・ ブログまたはソーシャル・ネットワーキングを企画し、
若者や地域のリーダーへ発信し、意見を求める

職業奉仕)

- ・ 会員の 50%以上が職業奉仕のプロジェクトに参加する
- ・ 全会員が職場に「ロータリーの職業宣言」を掲げる
- ・ 地域社会で、キャリア相談や職業研修プログラムを実施
- ・ 高い倫理基準を実施した人々を表彰するプログラムを実施
- ・ 少なくとも 3 つの学校における新世代プログラムに対し、
「四つのテスト」を推進する
- ・ 地元の他の専門職の人々とのネットワークを作る
- ・ 「キャリアデー」を実施、若者を職場に招き、キャリアの
機会について指導する

社会奉仕)

- ・ 環境のための奉仕プロジェクトを実施する
- ・ 7 月に CO2 排出量を減らすためのプログラムを実施する
年度中の会員によるエネルギー節約記録を付ける
- ・ 少なくとも 1 件の奉仕プロジェクトについて、地域の他団体とパートナーを組む
- ・ ロータリー地域社会共同隊他との合同プロジェクトを提唱
- ・ ポリオ撲滅を支援するために、募金活動を実施
- ・ ニーズ調査を行い、社会奉仕プロジェクトを立ち上げる

国際奉仕)

- ・ 環境を維持するための国連ミレニアム開発目標に取り組む
国際奉仕プロジェクトを実施または支援する
- ・ RI 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する
- ・ 少なくとも 1 名の会員が、海外で奉仕活動をする
- ・ RI 長期計画の少なくとも 1 つの重点分野に関連する国際奉仕プロジェクト（持続可能）を遂行する
- ・ ロータリー友情交換チームをつくり、海外と相互に訪問
- ・ 少なくとも 1 名の会員がバンコク（タイ）の 2012 年 RI 国際大会に登録する

新世代奉仕)

- ・ 新しいインターアクト、ローターアクト・クラブを提唱
- ・ RYLA の行事に参加する若者を後援する
- ・ 少なくとも 1 名の青少年交換学生、国際親善奨学生ロータリー平和フェローを派遣するか、受け入れる
- ・ 1 名以上の元ローターアクターを入会させる
- ・ 「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・ 青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

II) RI 第 2760 地区ガバナー松前憲典氏(一宮中央 RC)のテーマは、
「会員増強とクラブの活性化

- ・社会貢献をする
- ・ゆったりとおおらかに生きる」である。

当クラブの目標として、会員増強純増2名以上を指示された。

III) 岡崎城南ロータリークラブは、下記をテーマとする。

テーマ；「人の痛みがわかるように、Durch Mitleid(R.Wagner)」

サブ・テーマ；「少年の心」、「慈しみと感動を伴う奉仕」

RC の創始者ポール・ハリスによれば、いわゆる暗黒時代のシカゴは人の心の砂漠であったという。この孤独感の中で、彼は誰の心にも宿る「少年の心」を失わないことがロータリーの原点であると述べている。

しかし現代においては、様々に苦悩する人々を目前にして、ただ立ちつくすばかりの少年を見ることが多い。あたかも R.Wagner の「パルジファル」に登場する少年「清らかなる愚か者」を連想する。純粹無垢ではあるが、未熟で、心が枯渇した少年像は、現代日本の新世代や我々自身の中にも潜んでいるのかもしれない。

物語では主人公の「清らかなる愚か者」は、人の痛みを取り除くという「聖金曜日の奇跡」を引き起こす。少年は、本来の感性を取り戻し、Durch Mitleid(共苦によりて)「人の痛みがわかるように」成長し、万物に対する「慈しみと感動の心」を開花させ、やがては形骸化した社会を救済する力になるという。

我々がめざす奉仕の理想も、ルーティンの形骸的な行為であってはならない。「少年の心」を忘れずに、「人の痛みがわかるように」、「慈しみと感動を伴う奉仕」を心あるロータリアンと共に実践し、「更なる感動をもとに」次の奉仕をめざす一年でありたいと考える。

IV) クラブの長期目標；

- 1) 地域が誇るものを発掘・支援し、「街づくり・人づくり」に
貢献する (社会奉仕・新世代奉仕)
- 2) ミャンマー教育支援の継続
奨学会” KIBOH” 「ミャンマーにお医者さんを育てよう」
(国際奉仕)
- 3) ロータリーの理解を深め、楽しい例会をめざす
(クラブ奉仕・職業奉仕)

V) クラブの年度目標；

- 1) 地区ガバナーの年度目標を受け、会員増強純増 2 名以上を達成
- 2) ロータリー財団「未来の夢計画」に参加し、クラブ全員で
奉仕の理想とその「喜び・誇り・感動」を経験する機会としたい。
 - ① 「岡崎ふれあいコンサート」を企画（新地区補助金を申請）
 - ② 「奉仕の理想、岡崎城南バージョン」を会員に公募し発表する

<目的>

 - ・ 高校コーラス部員とコーラスに携わる市内の小・中学生
およびロータリアンの音楽を通じた交流
 - ・ 地域が誇る岡崎高校コーラス部を支援し、音楽教育レベルの高い
文化都市としてのあり方を提案し、街づくりに貢献する
 - ・ RC 広報活動の一環として、新世代とその家族の理解を求める
 - ・ ロータリアンの家族が参加する機会とする
- 3) ミャンマー教育支援の記録を再編集する

<目的>

 - ・ 会員がこの国際奉仕活動を理解し、またその方向性を再確認する
資料とする
 - ・ RI および第 2760 地区に奉仕の実績を示す
 - ・ RC の広報活動として、地域の住民にも理解を得る

4) ロータリーの理解を深め、楽しい例会をめざす

①岡崎城南ロータリークラブを紹介するパンフレットを作成

<目的>

- ・新入会員を勧誘するときの資料とする
- ・ロータリアンとしての義務とマナーを再確認する
- ・出席免除会員を含めたロータリアンの平等性を確認する
- ・現在を振り返り、魅力あるクラブ運営を検討する資料とする
- ・クラブ内の指導者養成プログラムの一環として行う

② 2011-2012 年度職業分類を完成させる

<目的>

- ・地域に即した最新の職業分類を得る
- ・クラブの特色を他クラブと比較する
- ・未充填職業分類の会員増強
- ・職業奉仕を考える上で資料とする

③会員増強（担当；副会長）、広報（担当；クラブ奉仕委員長）、

RI 財団（担当；国際奉仕委員長）以上 3 委員会の重点化

具体的には、理事会で 3 委員会の懸案事項を毎回取り上げ、報告を受け、検討し、方向性を指示する

<目的>

- ・CLP が意図するクラブ活性化をめざす
- ・ガバナーからの年次目標、純増 2 名以上達成のため
- ・会員減少の危機感を常に意識し、対応する
- ・健全かつ効率の良い広報活動を奨励し、理事による助言を求める
- ・RI 財団の目標の達成状況を確認する
- ・奉仕を支える RI 財団の動向に備える

④委員長のリーダーシップの強化（指導者養成プログラム）

- ・委員長は、活動の現況を予算や収支の動向を含めて明らかにし、

問題点と対策を検討し、新たな奉仕プロジェクトを作成する。

- ・例会では、新年度7月中（事業計画の発表）と各月1回は委員会単位の座席とする。また、自発的に委員会単位（合同）の懇親会を設け、意見を出し合い、これを幹事に報告する。
- ・卓話の選択にはプログラム委員長のみならずロータリー強化月間の各関連委員長が責任をもち、委員会卓話を設ける。

<目的>

- ・委員長が、小委員会を含め、年次目標の達成に責任をもつ。
- ・委員会単位の連携を強化することにより、奉仕プロジェクトに対する会員の意識を高める。

⑤ファイアー・サイド・ミーティング **Fire-Side Meeting** および
趣味の会を推奨し、登録を試み、公開することで門戸を広げる

<目的>

- ・新入会員にロータリー情報を提供する場を設ける
- ・会員宅を持ち回りして、少人数で開く非公式な談話会を通して、ロータリーの初歩的な質問やクラブ運営上の疑問に思う点などを話題にすることができる
- ・同じ趣味を持つ者が集まり、趣味を通じて親睦を深める

SAA (Sergeant-at-Arms) 会場監督 ; 永田裕

会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。(岡崎城南 RC 細則)

SAA は、例会をはじめすべての会議が楽しく、秩序正しく運営されるよう常に心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有する人

(ロータリー情報マニュアル)

SAA は審議機関としての権限しかもっていない理事会メンバーを超越した例会場における最高の権限を持つ執行機関の役員である

SAA の役割 ;

- ・「例会場への入場、退場許可、例会場の開門、閉門」
- ・「早退、遅刻の承認や拒否」
- ・「私語に対する警告」
- ・「その他例会場の秩序を乱す行為に対して警告と退場命令を下す」
- ・「例会に関する講評」

(わかりやすいロータリー)

<前年度方針> 前 SAA 藤江顕治

- ・ロータリアンにとって例会出席が一番重要なことと考える
- ・「例会は人生の修養の道場である」
- ・週 1 回の例会に出席し、挨拶をかわすだけでも意義はあると思う
- ・欠席連絡は必ずする

<年度目標>

- 1) SAA は例会場における最高の権限と責任をもつ
 - ・ 例会前に欠席の連絡があった会員のリストを出席会場委員会より入手する
 - ・ 無断欠席者のリストを同委員会より入手し、次回無断欠席者が出席した際に注意を与え、ニコボックス委員を同伴し協力を促す
 - ・ 「早退、遅刻の承認や拒否」のために、SAA は早退や遅刻者などが出入りする際にはその都度、扉付近に立ちふさがる
 - ・ 「私語に対する警告」のため、” Be Silent” などのカードを示す
 - ・ 「その他例会場の秩序を乱す行為に対して警告と退場命令を下す」

- 2) 「例会に関する講評」を少なくとも月 1 回行う

- 3) SAA 不在の場合には会長エレクトまたは副会長が代行する

「委員会」

A) 常任委員会

I) クラブ奉仕委員会；委員長牧野正高

「奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるためにクラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。」

(2007年規定審議会「四大奉仕の定義」より)

”クラブ管理運営委員会 (CLP)”

クラブ奉仕委員会委員長は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任を持ち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。

(岡崎城南 RC 細則)

< 2011-12 年度 RI 会長のクラブ奉仕における活動の奨励事項 >

- ・ 40 歳未満の新会員の入会、会員数の純増
- ・ 会員実数の最低 85 % を維持
- ・ 3 年間のクラブの長期計画、年次目標と長期目標を定める
- ・ 公共イメージキャンペーンを立ち上げる
公共奉仕広告を少なくとも 1 回掲載
- ・ 「家族」が参加する奉仕または親睦行事を 3 回実施する
- ・ 指導者養成プログラムを採用
- ・ ブログまたはソーシャル・ネットワーキングを企画し、
若者や地域のリーダーへ発信し、意見を求める

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 澤田道明

- ・ 各委員会行事への会員の積極的な参加を促す
- ・ 理解を深めるために、随時委員会を開催する
- ・ 各委員会の連携を密にして、円滑、充実した例会を目指す

<年度目標>

1) 「岡崎城南 RC」パンフレット作成 (HP にも掲載)

目的 ; 魅力あるクラブ作りをめざすため現況を明らかにする
ロータリーを自分の言葉で語れるように
新入会員の手引きとして

2) 季節感のある特別例会

目的 ; 一年を季節の移り変わり体感することで感性を養う
会員が伴に季節感を愛でることで、連帯感を高める

3) 出席免除会員の平等性の確認

目的 ; 1/4 を占める出席免除会員にロータリアンの義務を確認

- ・ 例会出席 (欠席の連絡)
- ・ 委員会の構成員としての活動 (欠席の場合の申し送り)
- ・ その他ロータリー・プロジェクトへ積極的な参加を要請

4) 例会座席の工夫

事業計画発表 7 月中と各月 1 回は委員会単位の座席とする
目的 ; 委員会の構成員としての自覚を高める
新たな友人を作る

＜ロータリー情報委員会＞

監督（調整）；会長エレクト近藤憲康、クラブ奉仕委員長牧野正高
委員長；長野哲也、副委員長；岡田吉生、近藤正俊

この委員会は、

- （１） 会員、特に新会員にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する適切な理解を与え
（新会員のためのオリエンテーションと教育、基礎知識）、
- （２） 会員にロータリー、その歴史、綱領、規模、活動に関する情報を提供し（会員の継続教育）、
- （３） 会員に国際ロータリーの管理運営の動向についての情報を提供する方法を考案しこれを実施するものとする。

（岡崎城南 RC 細則）

＜ 2011-12 年度 RI 会長のクラブ奉仕における活動の奨励事項＞

- ・ 指導者養成プログラムを採用

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 岡田吉生

- ・ 新入会員に RC のオリエンテーションをする
- ・ 「” 友 ” インターネット速報」を Web 配信し、「紙」でも例会毎に配布
- ・ 入会 3 年以内の会員を対象に、シニア会員も交えて、勉強会・懇親会を開催する
- ・ ロータリー理解推進月間には、卓話その他情報提供する

＜年度目標＞

- 1) 新入会員の教育を目的とする懇親会を開催する
 - ・ 新入会員（入会 3 年以内の会員）にマナーとルールを教える
 - ・ 戸惑いや疑問に答える
- 2) 中堅会員の継続研修を目的とする懇親会を開催する
クラブの奉仕活動の方向性について意見を聞く
- 3) チャーターメンバーの声を聞く懇親会を開催する
創立の志は失われていないか？ 苦言、提案を戴く

補足)

2009年11月 RI 理事会は長期計画を採択（2010.7.1.より有効）

3つの基本要素；

「強力なクラブ・効果的な奉仕・認知されるブランド」

この推進に焦点を当てている。

優先項目が7項目から3項目に変更

各項目は測定可能な活動目標を備えている

長期計画に修正を加える趣旨；

- ・ RI とロータリー財団の長期的な方向性を統一する。

ロータリー財団の6つの重点分野を重視

1) 平和と紛争予防・紛争解決 2) 疾病予防と治療

3) 水と衛生設備 4) 母子の健康

5) 基本的教育と識字率向上 6) 経済と地域社会の発展

- ・ 個々のクラブの重要性という基本、ならびにクラブをサポートするための RI の取り組みを認識することにより、基本に立ち返る。
- ・ 世界舞台での行動を主体としたロータリーの奉仕の成果を紹介することにより、組織のイメージを明らかに打ち出し、文書で裏づけられたニーズに取り組む。

<長期計画>

ビジョン；私たちは、世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である。

標語；「超我の奉仕」” Service Above Self”

I) クラブのサポートと強化

- ・クラブの刷新性と柔軟性を育てる
- ・四大奉仕部門における調和の取れた活動を行う
- ・多様性を増進する
- ・会員の勧誘と維持を改善する
- ・リーダーを育成する
- ・ロータリーを伸展させる
- ・クラブと地区における長期計画の立案を奨励する

II) 人道的奉仕の重点化と増加

- ・ポリオを撲滅する
- ・以下の分野における奉仕の持続性を高める
- ・青少年と青年のプログラム
- ・ロータリー財団の6つの重点分野
 - 1) 平和と紛争予防・紛争解決
 - 2) 疾病予防と治療
 - 3) 水と衛生設備
 - 4) 母子の健康
 - 5) 基本的教育と識字率向上
 - 6) 経済と地域社会の発展
- ・他組織との協力関係を拡大する
- ・地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造する

Ⅲ) 公共イメージと認知度の向上

- ・ イメージとブランド認知を調和させる
- ・ 行動を主体とした奉仕を推進する
- ・ 中核となる価値観を推進する

中核となる価値観；

- ・ 奉仕 **Service**
- ・ 親睦 **Fellowship**
- ・ 多様性 **Diversity**；

「ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが将来の鍵を握るクラブである。」

- ・ 高潔性 **Integrity**

「私たちは、活動の結果について、また、目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース（資源）を良心的に管理する。」

- ・ リーダーシップ **Leadership**

- ・ 職業奉仕の理想を強調する
- ・ クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な活動について周知をはかるようにクラブに奨励する

使命；私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

< RI の審議機関とクラブの位置付け >

I) 規定審議会の歴史的経緯；

1911-29 年；国際大会（年次大会）で代表議員が審議

1930 年；規模が拡大し、国際大会に立法案と推奨決定を
あらかじめ提言する機関が必要となった。

1934 年；第 1 回規定審議会が立法案を審議、国際大会に提案する
「諮問機関」となる。当初は毎年開催。

1954 年；偶数年で開催

1970 年；立法機関を規定審議会一本化することを採択

- ・規定審議会は RI の正式な立法機関となる
- ・国際大会は規定審議会決定の再審議機能を有する

1972 年；同一本化開始

1974 年；現在と同様 3 年毎に開催

1983 年；初めてアメリカ国外、モナコで開催

15 年間世界各地で開催

1992 年；別の国で 2 回開催されるまで同一国での開催はないこと
を採択

1998 年；国際大会は RI の立法事項を審議しないことを採択
規定審議会の再審議は全クラブによる郵便投票によるものとなる。

2001 年；RI 世界本部の近隣地域において開催することを採択

今後規定審議会は常時シカゴで開催されることが決議された。

II) 規定審議会の構成；

- ・投票権を持つ議員；

各地区からの代表議員

2010 年開催時は 531 地区（日本の地区数は 34、6.4% 占める）

代表議員として規定審議会に 3 回を越えて出席できない

- ・投票権を持たない議員；

RI 会長以下役員、

但し、可否同数の場合には議長または副議長は

1 票を投じることができる

Ⅲ) 立法案；

- ・「制定案」；RI 定款、細則、標準クラブ定款の改正を目的とする
- ・「決議案」；意見の表明や RI 理事会への要請を目的とする

立法案提出者；クラブ、地区大会、RIBI 審議会（リビ審議会）、
RIBI 大会、規定審議会、理事会

(RIBI；グレート・ブリテン及びアイルランド内国際ロータリー)

クラブからの立法案は、地区大会もしくは郵便投票にて地区の審議を必要とする。立法案の提案者は主旨および効果に関する声明文を 300 語以内で提出する。規定審議会が開催されるロータリー年度の前年度の 12 月 31 日までに事務総長まで提出。地区当たり最多 5 件までとする。

Ⅳ) RI 理事会に対する建議案；

規定審議会に決議案を提出する代わりに、クラブまたは地区は、RI 理事会に建議案を提出することができる。多くの場合、より効果的に、より速やかに達成することができる。

Ⅴ) RI 理事会 Board of Directors (RI)；

19 のメンバー、理事会の議長である会長、会長エレクト、17 名の理事から構成される。

17 名の理事は、細則に明記されている全世界 34 のゾーン Zone (2009 年より日本は 3 つのゾーン、アジアのゾーン数は 7、1 ゾーン当たりの会員数は約 35,000 人)内のクラブから指名され、国際大会で全クラブによって選挙される。任期は 2 年。

国際大会の都度、投票に参加するのは各クラブの義務である。

VI) 選挙人 Elector ;

- ・ 正当な信任状をもつ代議員
(クラブ 50 名毎に 1 名、
端数が 26 名以上の場合さらに 1 名の代議員を送る権利を有す)
- ・ 委任状保持者 (クラブが直接投票に参加できない場合)
- ・ 特別代議員 (RI 役員、元会長)

VII) 理事指名委員会 Nominating committee for Directors;

ゾーン内の各地区から 1 名選挙された委員で構成される。任期 1 年。1 票投票権を有する。

VIII) 会長指名委員会 Nominating Committee for President ;

RI 理事指名のために理事会が定めた全世界 34 のゾーンから選挙された 17 名の委員によって構成される。

- ・ 偶数年には各奇数ゾーンから 1 名ずつ選挙される
- ・ 奇数年には各偶数ゾーンから 1 名ずつ選挙される
- ・ RIBI ゾーン内の 1 名は、RIBI の定める方法により選挙される

IX) 規定審議会の一つの決定とその 3 年後の修正について

- ・ 2001 年シカゴ規定審議会 ;

RI 会長および会長エレクトに対して、毎年感謝の意の表明として理事会が定める一定額の金銭の支払いを認め、「事務総長が報酬を受ける唯一の役員である」という規定から「唯一」という文言を削除した。

- ・ 2004 年シカゴ規定審議会 ;

上記金銭の支払いを廃止し、事務総長を報酬を受ける「唯一の」役員と再確認した。

(ロータリー情報マニュアル)

＜職業分類・会員選考委員会＞

監督（調整）；副会長中根常彦（クラブ奉仕委員長牧野正高）

委員長；千賀邦二、副委員長；市橋伸夫、松井孝王

この委員会は、毎年できるだけ早く、その地域社会の職業分類調査を行わなければならない。その調査から、職業分類の原則を適用し、充填未充填職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は本クラブの現会員のもっている職業分類を再検討しなければならない。そして、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議しなければならない。

また、この委員会は、会員に推薦されたすべての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性を徹底的に調査しなければならない。そしてすべての申し込みに対する委員会の決定を理事会に報告しなければならない。

（岡崎城南 RC 細則）

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 市橋伸夫

- ・多種多様な業種で構成されるクラブを目指す
- ・職業分類の調査
- ・会員増強委員会との連携により未充填職種の入会者の発掘

＜年度目標＞

1) 2011 年度職業分類の作成

- ・入会時と異なる職業の動向調査
- ・岡崎市の分類と比較
- ・岡崎 4RC（資料は 2010 年度）との比較

2) 未充填職業分類を明らかにする

3) 会員選考上、推薦された候補者を調査し、理事会に、担当監督（副会長）を通して報告する

＜会員増強委員会＞

監督（調整）；副会長中根常彦（クラブ奉仕委員長牧野正高）
委員長；小山章仁、副委員長；近藤正俊
松井孝王、小出浩義

この委員会は、絶えず本クラブの充填未充填職業分類表を検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するよう積極的に努めなければならない。

（岡崎城南 RC 細則）

＜2011-12 年度 RI 会長のクラブに対する奨励事項＞

- ・少なくとも会員 1 名純増、85%の会員維持率
- ・女性会員、若年層（45 歳以下）、RI 財団学友の入会
- ・会員基盤の多様性を増す（職業、性別、年齢など）

＜2011-12 年度 RI 会長のクラブ奉仕における活動の奨励事項＞

- ・40 歳未満の新会員の入会、会員数の純増
- ・会員実数の最低 85 %を維持

＜RI 第 2760 地区ガバナー松前憲典氏（一宮中央 RC）＞

「会員増強とクラブの活性化」をテーマとして取り上げ、
当クラブの目標として、会員増強、純増 2 名以上を指示された。

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 小野智範

- ・純増 2-3 名の増強
- ・未充填職業分類の会員増強
- ・40 代の会員増強
- ・退会防止

<年度目標>

1) 地区ガバナーの年度目標に従って

- ・ 会員増強 2 名以上の純増、85%の会員維持率
- ・ 若年層（45 歳以下）の入会
- ・ 会員基盤の多様性を増す（職業、性別、年齢など）

2) 会員の年度別動向調査（RI・地区・岡崎 4RC）

表・グラフ表示

3) 危機感の実態を明らかにし、会員の理解を得る

RI のデータでは、

退会者の三大共通点は、

- ・ 「クラブに指導性がない」
- ・ 「(志をもって入ったが) クラブに奉仕がない」
- ・ 「クラブに魅力がない」

という会員の迷いである

リーマン・ショック以降、会員減少は世界中でみられるが、我が国の減少率はすでに 10 年も前から確実に段階的に認められる過去 5 年間の会員減少率は、第 1 位が日本の 30 %、2 位のオーストラリアの 6 %、ラテンアメリカの 2 %を大きく離している

- ・ クラブに真の魅力を感じる運営がなされているか
- ・ 本業を犠牲にして駆けつけるに足るアドバンテージが感じられる例会かどうか

年間 7500 人の新加入があり、約 8 %の会員が年間に増加しているが、9000 人の会員を失っているのが現状である

クラブに入った新会員を維持 Member Retention することができていない
(2010.4.18 地区協議会第 9 分科会資料)

4) 入会勧誘の手順・岡崎城南 RC 紹介のパンフレット作成

” 会員増強・退会防止委員会（CLP）”

地域社会に奉仕し、ロータリー財団を支援し、クラブ・レベルを超えて奉仕できる指導者を養成するためにはクラブの会員基盤の充実度と規模が重要となる

- ・ 長期的な（3－5年）会員増強目標
- ・ 年次会員増強目標
- ・ クラブの過去5年間の会員状況を検討する
- ・ 職業分類調査を実施、地域社会の未充填の分類を特定
- ・ 勧誘・クラブ会員を維持する方法とその実践
全会員に会員候補者を推薦するよう奨励する
会費の負担を軽減する方法を考える
会員の特典と責務について誤解を解く
イメージの浸透
- ・ 会員の退会防止を推進する
親睦、例会の充実、総意に基づいた奉仕
- ・ 地域の専門職務における職業分類を把握する
- ・ クラブの会員構成が地域の多様性を反映しているか
- ・ 会員に推薦された人の資格を調査する（会員選考委員会）
- ・ 教育と研修（ロータリー情報委員会）
 - * 会員候補者の教育
 - * 新会員のためのオリエンテーションと教育
 - * 会員の継続教育
- ・ RI および地区の支援源を活用
- ・ 新クラブ結成の機会を模索

（会長要覧）

＜親睦活動委員会＞

監督（調整）；クラブ奉仕委員長、牧野正高
委員長；近藤保則 副委員長；犬塚浩
萩原啓至、柴田仙功、中根裕幸
佐野克彦、杉江元、板倉正直、近藤敬道

この委員会は、会員間の知り合いと友誼を増進し、用意されたロータリーのレクリエーション及び社会的諸活動への参加を会員に奨励し、本クラブの一般目的の遂行上会長または理事会が課する任務を果たすものとする
(岡崎城南 RC 細則)

＜2011-12 年度 RI 会長のクラブ奉仕における活動の奨励事項＞

- ・「家族」が参加する奉仕または親睦行事を 3 回実施する

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 松永茂夫

- ・親睦はロータリーの原点
- ・楽しい例会、意義ある例会、親睦を深める例会
- ・例会受付、会員関係の葬儀受付
- ・納涼例会、家族例会、クリスマス家族例会、創立記念例会
花見例会、最終例会
- ・13 クラブ親善スポーツ大会（ホストクラブ）

<年度目標>

1) 季節感のある特別例会と年3回の家族例会を実施

7月；	七夕例会
8月；会員増強および拡大月間	納涼例会（ビヤガーデン）
9月；新世代のための月間	新世代家族例会
10月；職業奉仕月間、米山月間	職場例会
11月；ロータリー財団月間	紅葉狩り例会
12月；家族月間	年末家族例会
1月；ロータリー理解推進月間	新春例会
2月；世界理解月間	節分例会
3月；識字率向上月間	創立記念例会
4月；雑誌月間	花見家族例会
5月；	新緑例会
6月；ロータリー親睦活動月間	最終例会

「上半期予定表（原案）」

- 7月5日（火）；クラブフォーラム会長方針と幹事挨拶
「七夕例会」；鉢植えの竹あるいは笹の枝を用意
短冊に今年度の会長方針を記入、7月中は例会場へ設置
・「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」；
RI カルヤン・バネルジー会長
・「少年の心」；RC 創始者ポール・ハリス
・「会員増強、純増2名以上」；松前憲典ガバナー
・「人の痛みがわかるように」；岡崎城南 RC 会長
- 12日（火）；事業計画
19日（火）；事業計画
26日（火）；事業計画
- 8月2日（火）；委員会卓話「会員増強および拡大月間」
副会長中根常彦または会員増強委員長小山章仁
9日（火）；「納涼例会（ビアガーデン）」
16日（火）；指定休日（1）
23日（火）；役員卓話、会計足立修
”ロータリーの二本立ての財政制度について（佐藤千尋）”
「RI 財団とニコボックスの重要性について」
30日（火）；会員卓話
- 9月4日（日）；例会変更（8月30日）、早朝例会「粗食例会」
13日（火）；委員会卓話「新世代のための月間」
新世代委員長；永井量基
19日（月）；RI 財団夢計画「岡崎ふれあいコンサート」
（月曜日に例会変更、「新世代家族例会」）
27日（火）；ガバナー補佐訪問
第3回クラブアッセンブリー

- 10月4日（火）；委員会卓話「職業奉仕月間」
”今年度職業分類の完成と
「ロータリーの職業宣言（1989年規定審議会）」について”
職業分類・会員選考委員長；千賀邦二
職業奉仕委員長；澤田道明
- 11日（火）；委員会卓話「米山月間」
米山記念奨学会委員会；志貴一仁
- 18日（火）；ガバナー公式訪問（ホスト；岡崎南 RC）
- 25日（火）；「職場例会」岡崎女子短大
- 11月1日（火）；委員会卓話「ロータリー財団月間」
ロータリー財団委員長；松野敏
- 8日（火）；役員卓話；SAA 永田裕「楽しい例会のマナー」
- 15日（火）；”本年度クラブ奉仕活動について
3カ月を終えて活動状況・問題点・修正など”
クラブ奉仕委員長；牧野正高
- 19日（土）-20日（日）；地区大会
- 22日（火）；「紅葉狩り例会」
- 29日（火）；外部卓話①
- 12月6日（火）；年次総会
- 13日（火）；委員会卓話「家族月間」
親睦活動委員長；近藤保則
- 20日（火）；「年末家族例会」
- 27日（火）；指定休日（2）

「下半期予定表（原案）」

- 1月3日（火）；法定休日
10日（火）；「新春例会」；会長年頭挨拶
17日（火）；粗食例会（阪神淡路大震災）
委員会卓話「ロータリー理解推進月間」
会長エレクト；近藤憲康
ロータリー情報委員長；長野哲也
” RIの長期計画・WCS廃止の経緯について（解説）”
24日（火）；会員卓話「年男大いに語る；宮島好弘」
31日（火）；会員卓話「年男大いに語る；磯部亮次」
- 2月7日（火）；「節分例会」
委員会卓話「世界理解月間」
国際奉仕委員長；松永茂夫
14日（火）；指定休日（3）
21日（火）；クラブフォーラム
WCS委員会ミャンマー訪問報告会
世界社会奉仕委員長；天野邦彦
28日（火）；外部卓話②
- 3月6日（火）；「創立記念例会」
” チャーター・ナイトについて”
初代会長；有馬惟夫
初代幹事；近藤敬道
13日（火）；粗食例会（東日本大地震 2011.3.11）
委員会卓話「識字率向上月間」
ロータリー財団委員会；
小野智範（ミャンマーの現況）
20日（火）；法定休日
27日（火）；外部卓話③

4月1日（日）；例会変更（4月1日）「花見家族例会」

10日（火）；委員会卓話「雑誌月間」

広報雑誌会報委員長；萩原啓至

” ホームページの役割”

17日（火）；外部卓話④

24日（火）；外部卓話⑤

5月1日（火）；指定休日（4）

8日（火）；第4回クラブアッセンブリー委員会引き継ぎ

15日（火）；委員会卓話「社会奉仕月間」

社会奉仕委員長；市川聡明

” 地域が誇るものを発掘・支援し、「街づくり」に貢献する”

22日（火）；「新緑例会」

29日（火）；次年度委員会

6月5日（火）；委員会卓話「ロータリー親睦活動月間」

親睦活動委員長；近藤保則

” 岡崎城南 RC の紹介パンフレット作成について”

12日（火）；各委員長からの報告

19日（火）；会長・幹事一年を振り返って

26日（火）；「最終例会」

- 2) 岡崎城南 RC の紹介パンフレットの作成
- 3) 同好会、趣味の会の記録（例会・HP）
 - 会長、幹事または主催者の登録
 - ゴルフ；「岡崎城南 RC 会長杯」、テニス、ワイン会、「酒仙会」
 - その他
- 4) ファイアー・サイド・ミーティング Fire-Side Meeting の記録
 - 会長・幹事、または主催者を登録
 - ・「蕎麦の会」；主催二宮敬宇
 - ・「阿弥陀会」；会長小野智範、幹事桐渕利次
 - 毎週火曜日 17 時 45 分頃より約 30 分間、
 - 岡崎ニューグランドホテル 1 階喫茶室にて談話
 - 会計；阿弥陀による持ち回り制
 - ・「炉辺談話会」；主催桐渕利次、自宅等にて
 - ・「会長会」
- 5) 親睦活動委員会の過去の活動状況（慶弔を含む）の概要を
新入会員に理解を得る
また、会員には問題点と打開策を示す

＜プログラム委員会＞

監督（調整）；クラブ奉仕委員長牧野正高
委員長；青山幸市、副委員長；高橋晶夫
太田三伸、中根裕幸、新欣也、藤江顕治

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のためのプログラムを準備し、手配しなければならない。

（岡崎城南 RC 細則）

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 筒井健

- ・ 内部卓話の増加
- ・ 例会開始時間の告知（5 分前・1 分前）
- ・ 1 年間の卓話計画、司会進行役の 1 年間のシフトの作成

＜年度目標＞

1) 各月ごとにロータリーの推進月間に関連した委員会卓話を行う
卓話者；推進月間関連の委員長または委員、あるいは推薦する人

2) 長期目標ならびに年度目標に即したテーマを取り上げる

①「地域が誇るものを発掘・支援し、”街づくり・人づくり”に
貢献する」

＜社会奉仕・新世代奉仕の方向性＞

例えば、岡崎市広報課（市の長期計画）、議員
商工会メンバー、岡崎ニューグランド・ホテル支配人など
国立研究所、県立岡崎高校教頭、地場産業
原発と太陽光発電

②「ミャンマー教育支援の継続」

＜国際奉仕の模索＞

- ・ ミャンマーの国際情報
- ・ アジア諸国との取引のあるロータリアンからの情報

- ・ 現地協力者の実態
 - ・ 他クラブの国際奉仕活動
 - ・ 奨学会「KIBOH」の詳細
(資金 2013 年まで投入、奨学金授与最終 2017 年まで)
 - ・ 2013 年後あるいは 2017 年後の国際奉仕のあり方
- ③ 「ロータリーの理解を深め、楽しい例会をめざす」
＜クラブ奉仕の充実＞
- ・ ロータリー情報と継続研修
 - ・ RI 会長と地区ガバナーのテーマ
 - ・ WCS 廃止の経緯
 - ・ ロータリー二本立ての財政制度（会計）
(国際ロータリー財団とニコボックスの意義と重要性)
 - ・ ロータリーのマナーについて；
 - ・ 魅力あるロータリアンの紹介
 - ・ チャーターメンバーからの提言「ロータリーにノーはない」
 - ・ チャーター・ナイトの話（創立記念日）；
 - ・ 岡崎城南 RC が誕生した経緯、創立の意義
 - ・ ファイアー・サイド・ミーティング
 - ・ RI 会長の言葉にもあるように、「家族」が奉仕の原点と考え、
まず、家族がロータリーを理解するように家族卓話を設ける

＜職業奉仕の理解を深める＞

- ・ 職業奉仕の理解を深めるために「四つのテスト」と
「ロータリアンの職業宣言」を解説
- ・ 新入会員の自己紹介 **Initiation Speech**；「現在の職業倫理」
- ・ すべての職業が尊重されるというロータリーの職業理念から
各会員の職業の現況または動向と高い倫理基準の実践について
(小野智範ご子息「大震災被災者支援活動」など)

<出席会場委員会>

監督（調整）；クラブ奉仕委員長牧野正高
委員長；鈴木豊 副委員長；小林政則
倉橋保、犬塚浩、中山泰巳、四十万谷与志明

この委員会は、すべてのクラブ会員があらゆるロータリーの会合に出席すること（これには、地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる）を奨励する方法を考案するものとする。この委員会は特に本クラブの例会への出席と、本クラブの例会に出席できない場合の他クラブ例会への出席とを奨励し、全会員に出席規定を周知せしめ、出席を良くするための良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる諸事情を確かめてこれを除去することに努めるものとする。 (岡崎城南 RC 細則)

<前年度方針・具体的計画案> 前委員長 小林政則

- ・無断欠席をなくす
 - ・月 1 回のアルコール例会
 - ・会場内禁煙、BGM
- 委員会メンバーのビジターテーブルへの着席

<年度目標>

- 1) 欠席連絡があった会員の報告と無断欠席者のリストを作成
 - ・例会前に欠席の連絡があった会員のリストを事務局より入手し、SAA、幹事に報告する
 - ・例会終了後、無断欠席者のリストを作成し、SAA と幹事に報告する
- 2) 報告事項の確認と見直し
 - ・ビジター数、出席率などの定例報告の他、前回の例会の無断欠席者の数を報告する

3) 優良ロータリアンの表彰について

ロータリーには罰則がないので、ルールを守り協力的な会員を表彰することで喚起を促していきたい。

1 例として、1 年を 4 期に分け、3 カ月に一回例会にて発表

- ・ホームクラブ 100%達成者の表彰（出席会場委員会発表）

- ・メーキャップ 100%達成者の表彰（同上）

（無断欠席者には次回出席時にニコボックスへ協力要請）

4) 会場の設営と後片付けの徹底

- ・卓話者との連絡；パソコン・プロジェクターなどの用意

- ・指定日には委員会単位の座席と立て札

- ・マイク、BGM、イス・テーブル配置、照明、空調、禁煙

5) ビジターの歓迎方法の工夫

- ・ロータリアンはビジターも皆平等の友達である

会員全員がビジターを暖かく迎え、声かけや握手を心がけるように導く

- ・出席会場委員は率先してビジターに配慮する。

6) 委員会単位の座席の日を設ける

- ・少なくとも事業計画発表の 7 月中と各月 1 回（委員会関連卓話）委員会単位の座席とする

7) 食事内容をホテル担当者と交渉する

- ・会員の声を重視

（品数を減らしても美味しいもの、食べやすいものを要望）

8) その他

- ・禁煙、アルコールは指定特別例会のみ、例会前の BGM（指定）

< 広報雑誌会報委員会（IT推進室） >

監督（調整）；クラブ奉仕委員長牧野正高

委員長；萩原啓至 副委員長；山本信一

蜂須賀喜久好、磯部亮次、有馬惟夫、田中暉登

この委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。

また、ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起し、雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎回雑誌の簡単な紹介を手配し、新会員の教科に雑誌を利用することを奨励し、ニュース資料と写真を雑誌編集者に送り、その他あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。併せて（1）広く一般世間に、ロータリー、その歴史、綱領および規模に関する情報を提供し、（2）本クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案しこれを実施するものとする。

（岡崎城南 RC 細則）

< 2011-12 年度 RI 会長のクラブ奉仕における活動の奨励事項 >

- ・ 公共イメージキャンペーンを立ち上げる
公共奉仕広告を少なくとも 1 回掲載
- ・ ブログまたはソーシャル・ネットワーキングを企画し、
若者や地域のリーダーへ発信し、意見を求める

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 柴田仙功

- ・ HP 利用についての周知
- ・ HP 利用アンケートを実施、会員の意見を反映
- ・ HP 更新のシステム化

<年度目標>

1) ホームページの充実

- ・ ホームページで、欠席者に情報を与え（例会報告）、執行部の方針を伝える（理事会報告）
- ・ 各委員会の活動、地区行事への参加報告等の原稿依頼
- ・ 卓話者（推薦者が代理も可）に講演の要旨を依頼、あるいは録音などにより広報委員が要旨をまとめて掲載する。
- ・ ロータリー情報委員会からの報告を掲載
- ・ 岡崎城南 RC パンフレット（活動紹介と入会案内）を紹介する
- ・ 同好会、趣味の会、ファイアー・サイド・ミーティングの報告；各世話人に原稿依頼
- ・ 会員ホームページとのリンク
- ・ 姉妹クラブとの緊密な連絡

2) 「ロータリーの友」への関心を喚起させる

- ・ 毎月、注目すべきと思われた掲載記事を紹介、解説する
- ・ 積極的な投稿、ロータリアン対象に岡崎城南 RC の活動を紹介
役員・理事・小委員会委員長には義務づける

3) 中部経済新聞、東海愛知新聞、その他への積極的投稿

「公共イメージキャンペーンを立ち上げる
公共奉仕広告を少なくとも1回掲載（RI）」

4) 「ブログまたはソーシャル・ネットワーキングを企画し、若者や地域のリーダーへ発信し、意見を求める（RI）」

「広報委員会」;

ロータリーの歴史、綱領および規模を一般に知らせる宣伝方法を考案し、実施することを任務とする。

(ロータリー情報マニュアル)

ロータリーが真のニーズを満たす信頼できる組織であることを地域社会に知らしめる (クラブ会長要覧)

#) ” クラブ広報委員会 (CLP) "の責務;

RI が推奨する CLP では、五つの常設委員会の一つを構成する。この委員長は理事となり、毎回理事会で広報について報告・協議することが推奨されている。

- ・ 次年度のクラブ広報目標を達成する
- ・ RI のリソースにはどのようなものがあるかを把握する
- ・ クラブの活動を、会員はもとより、メディアや一般市民にも知ってもらえるよう努める
- ・ メディアの注目に値するようなプロジェクトや活動の実施を心がける
- ・ 会員増強につながるような公共イメージを作り出すように努める

(クラブ会長要覧)

広報の構成要素

①対象者；

TV、ラジオ、新聞、雑誌、インターネットの記者やレポーター
自治体の役員、実業界のリーダー、市民団体の指導者、市民団体
ロータリーの奉仕プロジェクトの影響を直接受ける人々
学生や教師
特定の分野（教育や衛生保健など）を専門とするジャーナリスト

②メディア：

地元の雑誌、ラジオ局
看板広告、あるいはバスや電車などの公共の空間を利用した広告
業界紙、公共のケーブルテレビ局、ラジオの広報番組やトーク番組
社報および地域団体の会報
ブログ、ビデオ、ポッドキャスト、ソーシャルネットワーキング・
サイトなどのオンライン・メディア

③ニュースリリース（ニュース発表記事草案）

報道機関に情報を提供する手段

「誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どのように」と、情報を網羅
簡潔で、客観性を伴う情報を提供する

- ・添付書類としてではなく、Eメールの本文としてニュースリリースを送る（添付書類が付いている場合スパム（迷惑メール）フィルタ機能にかけられ、送ったEメールが届かないことがある。
- ・件名を単に「ニュースリリース」とする代わりに、内容を伝えるものとする。
- ・代表のEメールアドレスに送るのではなく、まずは適切な担当者を探し出してから、その人に直接ニュースリリースを送るように

④概要資料

概要資料は、ロータリーとその歴史、目的、プロジェクトの強調事項に関する基本的な情報を伝えるもの

ロータリアンには、教育用に使用され、対外的には報道関係者に予備知識を提供し、一般の人々の理解を求める

⑤注目に値するクラブの活動や行事

- ・地域社会のニーズに取り組む奉仕プロジェクトや大々的なニュースとなっている主題を取り上げたもの
- ・クラブやクラブ会員が支援した国際奉仕プロジェクト
- ・地元の青少年や地域社会の著名な人物が参加するプロジェクト
- ・著名な卓話者を招いたクラブ例会
- ・RI またはロータリー財団のプログラム参加者による異文化体験に基づいた講演
- ・インターアクトとローターアクトの活動
- ・地元クラブまたはプログラムの創設記念日
- ・インパクトの強い視覚的要素を採り入れた話題

その他クラブの存在を知ってもらうための手段

- ・マラソン大会、リサイクル運動、募金活動といった特別行事を主催する
- ・地域中で実施する展示や掲示を制作する
- ・新聞、雑誌、掲示板、バス、空港や駅の構内に広告を出す
- ・他団体の広報担当者と関係を築く
- ・ロータリアンにロータリー徽章の襟ピンの着用を徹底させる
- ・オンライン・フォーラム、地元地域のカレンダー、他団体のウェブサイトなどに、ロータリーの情報を掲載する

(クラブ会長要覧)

＜ RI 長期計画の三つの基本要素の内の一つを「広報」が担う＞
(RI 理事会の採択、2011. 7. 1. より実施)

RI 長期計画 (2010 年 7 月-2013 年 6 月までの 3 年間)

標語 ; 「超我の奉仕」 ” Service Above Self”

I) クラブのサポートと強化

II) 人道的奉仕の重点化と増加

III) 公共イメージと認知度の向上*

- ・ イメージとブランド認知を調和させる
- ・ 行動を主体とした奉仕を推進する
- ・ 中核となる価値観を推進する

①奉仕 Service

②親睦 Fellowship

③多様性 Diversity ;

「ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが将来の鍵を握るクラブである。」

④高潔性 Integrity

「私たちは、活動の結果について、また、目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース (資源) を良心的に管理する。」

⑤リーダーシップ Leadership

- ・ 職業奉仕の理想を強調する
- ・ クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な活動について周知をはかるようにクラブに奨励する

使命；私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務
および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、
親善、平和を推進する。

＜ニコボックス委員会＞

監督（調整）；クラブ奉仕委員長牧野正高
委員長；稲垣裕幸、副委員長；鈴木美能治
牧勝、柴田仙功、二宮敬宇、杉山隆章

寄付金を集めることがこの委員会の仕事、ニコボックスが例会をにぎわせて親睦を増進しその寄付金が社会奉仕等の資金になる。自主的判断の金額を入れることが望ましい。

（岡崎城南 RC 細則）

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 井上武彦

- ・ 毎例会でニコボックスの収集と発表
- ・ 特別行事には全員ニコボックスへの協力を
- ・ 会員誕生日と奥様誕生日に記念品贈呈
- ・ 銀婚祝、古稀祝、還暦祝を創立記念日に行う
- ・ 合計金額の集計と報告

＜年度目標＞

- 1) ニコボックスの意義を周知させる
過去の活動概要を報告し、新入会員の理解を得る
会員には問題点と対策を示す
- 2) 「申し合わせ事項」、「ニコボックスの基準」（上記）を守る
- 3) 優良ロータリアンを表彰する
ルールを守る協力的な会員を表彰することで喚起を促す
1 例として、1 年を 4 期に分け、3 カ月に一回例会にて発表する
 - ・ 毎回ニコ達成者の表彰（ニコボックス委員会発表）
 - ・ 頻回、高額ニコ者など
- 4) 東日本大震災義援金および被災者支援の目的で集金

補足)

1) ニコボックスの由来

・一般に、ニコニコ箱(スマイル・ボックス Smile Box)は、例会場で会員が自由意志で善意の寄付金を入れる箱、1936年(?)大阪 RC で初めて実施されたロータリー特有のものである。

(「ロータリー情報マニュアル」)

・昭和6年、1931年大阪 RC の藤原ロータリアンが創案者

(罰金箱として)

昭和10年、1935年東京 RC の関幸重ロータリアンが考案

(関幸重；三越本店裏のラシャ問屋上村伝助商店の大番頭)

「当時の社会奉仕委員が東京ロータリーホームの子供達を多摩川園へ招待しようと立案したが、お金がない。充当できる特別会計がなく、普通会計の会費を転用するわけにはいかないところ、関氏があり合わせのボール箱を取り出し、会員の席をまわり、軽妙洒脱に会員の慶事を取り上げて財布の紐を解かせ、600円の募金を集めた。以後、何かあるごとにボール箱を持ち出し、おめでたいことの自祝の金をあつめて、これを社会奉仕の財源にしたのがニコニコ箱の起りである。三越に、恵比寿の像を彫った木箱を作らせたのが第一号で、恵比寿像も剥落しているが、今でも東京クラブでは使われている。」

(大村北 RC 「ロータリーの森を歩く」)

2) ニコニコ箱会計は、会員が受益者とならない社会奉仕、国際奉仕委員会 (+ 新世代奉仕) およびその特定分野委員会費用であり、主として団体奉仕活動の資金として支出し、前年度のニコニコ箱収入総額を支出の限度額として予算化する。

(RI 第 2650 地区編集、「わかりやすいロータリー」)

3) ニコボックスの基準について

a. (3) 項 (b) ; 会員誕生日、奥様記念日、結婚記念日

および (c) ; 年度内に金婚式、銀婚式、還暦、古稀、喜寿

- (満年齢) 以上に該当の場合には、3,000 円以上とする。
- b. その他一般・慶弔事については、1,000 円以上とする。
(年次計画書「申し合わせ事項」より、開始は不明、
1998 年以降の年次計画書に記載あることは確認済み)
但し、2000-2001 年度年次計画書では、慶事を 27 項目に分け、
すべて 1000 円以上とした(?) 委員長(退会者)あり、以後、
申し合わせ事項に誤解が生じているようであれば是正したい。
- 4) ニコボックス他に関する岡崎 4RC の比較 (2010-2011 年度)
- a) 岡崎 RC ;
「ニコニコ委員会」; 予算目標 240 万円 (93 名) 一人 2.6 万円
ニコ規定なし
- b) 岡崎南 RC ;
「会場・ニコボックス委員会」; 予算目標 150 万円 (95 名)
一人 1.6 万円
ニコ規定あり 褒賞・叙勲 1 万円、金婚式・還暦など 5000 円
奥様誕生日 3000 円、会員誕生日 1000 円 (以上)
- c) 岡崎東 RC ;
「ニコニコ委員会」; 予算目標 120 万円 (64 名) 一人 1.9 万円
ニコ規定あり
叙勲 1 万円、公的表彰 5000 円、誕生祝 3000 円
名誉職就任 2000 円、スポーツ・趣味の入選 1000 円 (以上)
- d) 岡崎城南 RC ;
「ニコボックス委員会」; 100 万円 (73 名) 一人 1.4 万円
ニコ「申し合わせ事項」あり
会員と奥様の誕生日、結婚記念日、金婚式、銀婚式、
還暦、古稀、喜寿には 3000 円、
一般慶事 1000 円 (以上)
(各 2010-2011 年度年次報告書より)

Ⅱ) 職業奉仕委員会；委員長澤田道明

「職業奉仕委員会委員長は、職業奉仕の諸活動全部の対して責任を持ち、かつ職業奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。」

「この委員会は、本クラブの会員が、その職業における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。」
(岡崎城南 RC 細則)

< 2011-12 年度 RI 会長の職業奉仕部門における活動の奨励事項 >

- ・ 会員の 50%以上が職業奉仕のプロジェクトに参加する
- ・ 全会員が職場に「ロータリーの職業宣言」を掲げる
- ・ 地域社会で、キャリア相談や職業研修プログラムを実施
- ・ 高い倫理基準を実施した人々を表彰するプログラムを実施
- ・ 少なくとも3つの学校における新世代プログラムに対し、
「四つのテスト」を推進する
- ・ 地元の他の専門職の人々と会い、ロータリーを紹介できるようなネットワークを作りを行う行事を少なくとも1回開催する
- ・ 若者を職場に招き、キャリアの機会について指導する「キャリアデー」を実施する

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 永井量基

四つのテストの唱和、職場例会の実施、職業に関する卓話

< 年度目標 >

- 1) 会員の 50%以上が職場例会に参加する
- 2) 全会員が職場に「ロータリーの職業宣言」を掲げる
- 3) 過去の職場例会の記録を編集する
日時、場所、推薦者（関連会員）など
- 4) 会員の現在の職業情報を調査し、相互の理解を深める
入会時と異なる状況などを報告

補足) ロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道德水準を実践することを奨励する。

①「四つのテスト」; 1932年ハーバートJ・テイラーによる
言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか(「嘘偽りがないかどうか」)
- 2、みんなに公平か(すべての取引先に対して公正かどうか)
- 3、好意と友情を深めるか

(商取引が店の信用を高めると同時に、より良い人間関係を築き上げ、取引先を増やすかどうか)

- 4、みんなのためになるかどうか

(商取引によって、すべての取引先が適正な利潤をうるか)

②ロータリアンの職業宣言(1989年規定審議会)

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下のごとく行動することが求められている。

- 1、職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
- 2、職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、名実ともに忠実であること。
- 3、職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
- 4、雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
- 5、社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すること。
- 6、自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
- 7、広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
- 8、事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

(2007年規定審議会「四大奉仕の定義」)

2008年4月の規定審議会であらためて四大奉仕がRIの定款に入れるように制定された。これは日本からのRI理事重田政信、渡辺良政両氏の尽力による。

100年ロータリーが続いたのは「一業種一会員のかつての原則」があったお陰だと思っている。

「10%ルール」は2001年の規定審議会で制定された。
議長クリフ・ダクターマン（パストRI会長）の宣言；
「本人がロータリーが大好きで、既存の会員同業者も喜んで迎えたいという候補者があっても一業種一会員のためにロータリアンにならない人救う手段のためのものである」

ロータリー会員の出身母体は実に多様であり、およそ世の中で有用な事業として認められているあらゆる職業、異業種のリーダーが、同業者からではなくロータリーメンバーから推薦され入会を許されることになっている。

＜職業情報・活動表彰委員会＞

監督（調整）；職業奉仕委員長澤田道明
委員長；永坂博彦、副委員長；加藤豊生
鋤柄義行、宮島好弘

この委員会はあらゆる職業分類に属する会員が職業上の才能が生かせるような事業の計画を通じて、地域内の雇用機会の増大、公平な職業環境の育成、職業に関する情報の増加を拡大することに努める。

また、ロータリアン以外の人々を援助するクラブ・プロジェクトを通じ職業活動表彰を行う。

（岡崎城南 RC 細則）

＜ 2011-12 年度 RI 会長の職業奉仕部門における活動の奨励事項＞

- ・ 会員の 50%以上が職業奉仕のプロジェクトに参加する
- ・ 高い倫理基準を実施した人々を表彰するプログラムを実施

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 杉浦節雄

- ・ 職業奉仕はロータリーの根幹をなす思想であることを念頭に置き、職業倫理の高揚を推進するためにも、職業奉仕の定義に沿った活動を実践していきたい。
- ・ あらゆる有用な業務は、尊重されるべきであるという認識を深めることであり、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめることである。
- ・ 職場例会を計画、職場体験学習も受け入れる

<年度目標>

- 1) 会員の50%以上が職場例会に参加する
- 2) 全会員が職場に「ロータリーの職業宣言」を掲げる
- 3) 過去の職場例会の記録を編集する
日時、場所、推薦者（関連会員）など
新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す
- 4) 会員の現在の職業情報を調査し、相互の理解を深める
入会時と異なる状況などを報告

Ⅲ) 社会奉仕委員会；委員長市川聡明

「社会奉仕委員会委員長は、社会奉仕の諸活動全部の対して責任を持ち、かつ社会奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。」

「この委員会は、本クラブの会員がその地域社会に対する諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。」

(岡崎城南 RC 細則)

< 2011-12 年度 RI 会長の社会奉仕における活動の奨励事項 >

- ・ 環境のための奉仕プロジェクトを実施する
- ・ 7月に CO2 排出量を減らすためのプログラムを実施する
年度中の会員によるエネルギー（電気、石油などの化石燃料・油・ガソリン、そのほかの資源）の節約記録を付ける
- ・ 少なくとも 1 件の奉仕プロジェクトについて、地域の他団体とパートナーを組む
- ・ ロータリー地域社会共同隊他との合同プロジェクトを提唱
- ・ ポリオ撲滅を支援するために、募金活動を実施
- ・ 地域社会のニーズ調査を行い、その調査結果を活用して、クラブ会員が積極的に奉仕活動に参加できるような社会奉仕プロジェクトを立ち上げる。地元団体、管理当局、地方自治体と協議し、援助や参加を求める。

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 青山幸市

- ・ 環境保全委員会のリーダーシップによる省エネ共和国国民としての環境問題への取り組み
- ・ RCC 委員会による草刈清掃奉仕への全会員参加を呼びかける
- ・ 地区社会奉仕委員会より 2760 地区各クラブの活動状況がメール配信されるのを HP に掲載する

<年度目標>

- 1) 過去の社会奉仕の記録を編集する
項目、日時、場所、出席者

 - 2) 環境のための奉仕プロジェクトを実施する
環境保全クリーンエネルギーの推奨プロジェクトを立ち上げる
家庭用・事業用太陽光発電への切り替えマニュアルの提示
メーカー・施工業者の説明、実施ロータリアンの卓話

 - 3) 7月にCO2排出量を減らすためのプログラムを実施する
年度中の会員によるエネルギー（電気、石油などの化石燃料・油
・ガソリン、そのほかの資源）の節約記録を付ける

 - 4) ”歴史と文化の街、岡崎”の「街づくり・人づくり」支援
長期目標としての方向性を定める
 - ①「岡崎が誇るもの」を発掘支援する；卓話にて
岡崎城の桜・徳川家康生誕の地・三河武士
八丁味噌・石工・花火・和ロウソク
菅生川の花火大会・香嵐溪の紅葉
岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所
自然科学研究機構 分子科学研究所
岡崎高校・岡崎高校コーラス部
内田ジャズコレクション
岡崎城南 RC ミャンマー教育支援（継続13年間現地訪問）

 - ②リバーサイド遊歩道の開発
- ・「職業上のVIPや海外からの客人に、岡崎のどこを案内し、何を紹介しますか？」；「岡崎の代表的な風景”城と川”
 - ・岡崎の自然の四季折々に触れ、心身の健康を増進するために、
”菅生川-岡崎城一周コース”を提案

- ・城南ロータリアンが歩きながら思いを伝え合う機会を作る
- ・散歩道マップの作成（四季折々の見所・休憩所・トイレなど）
- ・街の活性化の一助とする
- ・近隣の都市から、自然と歴史に触れながら休日を歩いて楽しむ
スポットを提供する

1 例として、

リバーサイド写真大会；ホテル玄関のロータリー立て札に掲示、
赤ちゃん大会、健康優良児の紹介、ペット大会、
ホテル前駐車場にガーデンテーブル・セットとパラソル寄贈
岸辺へのホテル前の階段に手すりを寄贈する

補足)

奉仕の第三部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行う様々な取り組みから成るものである。

(2007年規定新議会「四大奉仕の定義」)

社会奉仕の事例

- ・ 人間尊重；福祉、健康、文化教育、安全
 - 1、社会的弱者への支援、
 - 2、保健、衛生、長寿で健康
 - 3、子育て支援
 - 4、社会治安の向上をめざす
 - 5、才能ある人の発掘、支援
 - 6、文化活動で心豊かな人を
 - 7、災害に備える
- ・ 地域発展
 - 1、産業育成
 - 2、観光の街づくり
 - 3、街並整備
- ・ 環境保全
 - 1、山、野の植樹・森林の育成
 - 2、河川の清掃・魚や蛍の棲む清流に
 - 3、街路の清掃
 - 4、歩行者天国
 - 5、クリーンエネルギー
- ・ 協同奉仕
 - 1、協同（インターアクト・ローターアクト・RCC）
 - 2、街頭キャンペーン
 - 3、国際交流（わかりやすいロータリー）

岡崎 4RC の比較（2010-2011 年度）

- 1) 岡崎 RC ； 岡崎 RC 奨学基金委員会
- 2) 岡崎南 RC ； 保健委員会、岡崎三研究所交流委員会
- 3) 岡崎東 RC ； 細則では人間尊重委員会、地域開発委員会
(実際には合同委員会)
- 4) 岡崎城南 RC;
心と体を育む活動奨励；岡崎市学校保健大会岡崎城南 RC 賞
健康優良児小学生・中学生
軟式野球協賛金、岡崎美術展、市民美術展、緑の羽

<環境保全委員会（省エネ共和国）>

監督（調整）；社会奉仕委員長市川聡明

委員長；岩崎孝三、副委員長；杉浦節雄、加藤順弘

この委員会は、地域の環境の質を調査、改善するように心を配るものとする。
(岡崎城南 RC 細則)

<前年度方針・具体的計画案> 前委員長 小山章仁

COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）

530 運動；

「環境保全を考える週間」；

5月30日（ゴミゼロの日）から6月5日（国際環境デー）

エネルギー消費の削減目標；5-6%（1年後との比較）

「岡崎城南ロータリークラブ環境教育賞」の設定

(年次計画書)

<年度目標>

1) 環境保全委員会「省エネ共和国」の歴史と過去の活動状況を報告する

新入会員に概要を解説し、会員には問題点と解決の方向性を示す

「省エネ共和国」参加支援金の使途を明らかにする

2) 「環境のための奉仕プロジェクトを実施する (RI)」

環境保全クリーンエネルギーの推奨プロジェクトを立ち上げる

家庭用・事業用太陽光発電への切り替えマニュアルの提示

メーカー・施工業者の説明、実施ロータリアンの卓話

3) 「7月にCO2排出量を減らすためのプログラムを実施する

年度中の会員によるエネルギー（電気、石油などの化石燃料・油

・ガソリン、そのほかの資源）の節約記録を付ける (RI)」

< RCC・共同奉仕委員会 >

監督（調整）；社会奉仕委員長市川聡明

委員長；都築孝、副委員長；佐野克彦、近藤勤

「ロータリー地域社会共同隊 RCC:Rotary Community Corps」；

ロータリーの奉仕に対する熱意を同じくするロータリアン以外の人々の集まり

この委員会は、地域内のロータリー提唱の団体との関係を強化し、その奉仕活動に協力することに心を配るものとする。ロータリー・クラブの会員ではないが、ロータリーの価値観と使命を同じくするボランティアグループ RCC（ロータリー地域社会共同隊）の目標は、地域社会の生活状態を改善し、人生の喜びを高揚することである。

（岡崎城南 RC 細則）

< 2011-12 年度 RI 会長の社会奉仕における活動の奨励事項 >

- ・少なくとも 1 件の奉仕プロジェクトについて、地域の他団体とパートナーを組む
- ・ロータリー地域社会共同隊他との合同プロジェクトを提唱
- ・ポリオ撲滅を支援するために、募金活動を実施
- ・地域社会のニーズ調査を行い、その調査結果を活用して、クラブ会員が積極的に奉仕活動に参加できるような社会奉仕プロジェクトを立ち上げる。地元団体、管理当局、地方自治体と協議し、援助や参加を求める。

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 小林通利

- ・年 2 回の委員長会議に出席し、活動状況を報告する
- ・草刈り清掃奉仕；菅生川河川敷の草刈り清掃への参加

（年次計画書）

<年度目標>

- 1) RCC・協同奉仕委員会の歴史と過去の活動状況、
「菅生川をきれいにする会」と RC との関連を報告する
新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す

- 2) 委員長会議の活動状況から他クラブの情報を得る

- 3) RCC(ロータリー地域社会共同体) の全国的な活動検索

- 4) その他
 - ・「ポリオ撲滅を支援するために、募金活動を実施 (RI)」
 - ・「地域社会のニーズ調査を行い、その調査結果を活用して、
クラブ会員が積極的に奉仕活動に参加できるような社会奉仕プロジェクトを立ち上げる。地元団体、管理当局、地方自治体と協議し、援助や参加を求める (RI)」
 - ・「少なくとも 1 件の奉仕プロジェクトについて、地域のお他団体とパートナーを組む (RI)」

IV) 国際奉仕委員会

委員長；松永茂夫

「国際奉仕委員会委員長は、国際奉仕の諸活動全部の対して責任を持ち、かつ国際奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。」

「この委員会は、本クラブの会員が国際奉仕に関する事柄において諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施するものとする。」 (岡崎城南 RC 細則)

< 2011-12 年度 RI 会長のクラブの奨励事項 >

- ・ R 財団年次プログラム基金への 100%の参加 (金額は問わず)
- ・ 同基金へのクラブ寄付において、一人あたり平均 100 米ドル

< 2011-12 年度 RI 会長の国際奉仕部門における活動の奨励事項 >

- ・ 環境を維持するための国連ミレニアム開発目標に取り組む
国際奉仕プロジェクトを実施または支援する
- ・ R 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する
- ・ 少なくとも 1 名の会員が、海外で奉仕活動をする
- ・ RI 長期計画の少なくとも 1 つの重点分野に関連する国際奉仕プロジェクト (持続可能) を遂行する
- ・ ロータリー友情交換チームをつくり、海外と相互に訪問
- ・ 少なくとも 1 名の会員がバンコク (タイ) の 2012 年 RI 国際大会に登録する

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 中根常彦

- ・ 「ミャンマーへの教育支援プログラム」の継続
- ・ R 財団「新地区補助金」の申請を検討
- ・ 米山コイン基金の継続

<年度目標>

- 1) R 財団年次寄付（プログラム基金）への 100%の参加
（金額は問わず）
- 2) 同基金へのクラブ寄付において、少なくとも一人あたり
平均 100 米ドル
年次寄付” 毎年あなたも 100 ドルを”
- 3) ミャンマー教育支援の記録を再編集する
 - ・会員がこの国際奉仕活動を理解し、またその方向性を再確認する
資料とする
 - ・RI および第 2760 地区に奉仕の実績を示す
 - ・RC の広報活動として、地域の住民にも理解を得る
- 4) 少なくとも 1 名の会員が、プロジェクト・ボランティアとして
海外で奉仕活動をする
- 5) ロータリー友情交換チームをつくり、海外のロータリアンの
グループと相互に訪問し合う計画を立てる
- 6) 少なくとも 1 名の会員がバンコク（タイ）の
2012 年 RI 国際大会に登録する
- 7) その他
 - ・環境を維持するための国連ミレニアム開発目標に取り組む
国際奉仕プロジェクトを実施または支援する
 - ・R 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する
 - ・RI 長期計画の少なくとも 1 つの重点分野に関連する国際
奉仕プロジェクト（持続可能）を遂行する

奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成る。
(2007年規定審議会「四大奉仕」)

補足)

国際奉仕は、概念上、四つの一般的分野に分類できる。

- ・ 世界社会奉仕プログラム
- ・ 国際レベルの教育および文化交流活動
- ・ 特別月間と催し
- ・ 国際的な会合

国際プロジェクト

- 1、災害救援および復興
- 2、ロータリー友情交換 (RFE)
- 3、世界ネットワーク活動グループ
 - ・ ロータリー親睦活動 (RF)
 - ・ ロータリアン行動グループ
- 4、世界社会奉仕プロジェクト (WCS)

World Community Service, WCS

- ・ 人道的なプロジェクトであること
- ・ 2カ国以上の国のロータリアンが関与すること
- ・ 参加国のうちの1カ国がプロジェクト実施地であること

(わかりやすいロータリー)

岡崎 4RC の比較 (2010-2011 年度)

- 1) 岡崎 RC ; 愛教大附属岡崎小の米国ボールステート大学
バリス校との国際交流事業への支援
- 2) 岡崎南 RC ; 海外交流委員会
 - ・ 米国ニューポートビーチバルボア RC との交流
 - ・ 韓国慶州ナザレ園訪問と支援
 - ・ 石垣 RC との交流
- 3) 岡崎東 RC ; アマゾン植林事業への助成
カンボジア教育支援
- 4) 岡崎城南 RC ; ミャンマー教育支援

＜米山記念奨学委員会＞

監督（調整）；国際奉仕委員長松永茂夫
委員長；志貴一仁、副委員長；加藤義幸、永野彦磨

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としているロータリー米山記念奨学会に協力し、寄付金を集める。

また、ロータリー米山奨学生が、ロータリー・クラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となるように努める。
(岡崎城南 RC 細則)

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 鈴木美能治
研修会等参加、米山奨学会への理解

＜年度目標＞

- 1) 米山記念奨学委員会の歴史と過去の活動状況を報告する
新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す
一般寄付；一般会計より一人年額 5,000 円（2 期に分けて送金）
特別寄付；特別会計よりクラブとして年額 10 万円
（米山奨学会関係特別会計として「米山コイン募金」10 万円）
- 2) 財）米山梅吉記念館の訪問を企画する。
米山梅吉と日本のロータリーの歴史を学ぶ。

補足)

クラブの米山奨学生受入 (カウンセラー)

1994年	王岩君キョーキョーモー Kyaw Kyaw Moe	()
1996年	許筱玲さん	()
2000年	岩村・アンジェラ・悦子さん	()
2001年	ゴオ・ハイ・ドン君	()
2003年	梅 琳さん	()
2007年	斬 欽君スチン	()

(年次計画書)

クラブのその他の奨学生受入、交換学生派遣・受入

1990年	青少年交換学生派遣
1991年	青少年交換学生受入
2005年	R 財団国際親善奨学生合格 (杉浦清美)

(年次計画書)

ロータリー関連で支援している外国人留学生

いずれのプログラムも、国際交流によって異文化への理解を促し、ロータリーの願う世界平和を追求するという点では一致している

1) ロータリー世界平和フェロー [R 財団]

世界平和の実現を目指して、ロータリーセンター

(世界で7大学6センター、日本では国際基督教大学)で、国際関係・平和・紛争解決に関する修士課程を学ぶためのもの。毎年100人くらい(世界枠)が選ばれる。

2) 国際親善奨学生 [R 財団]

大学生以上を中心とする留学プログラムで、他国へ留学して異文化を知り、友好関係を築くことで「ロータリー親善使節」として活躍することが期待される。

日本では派遣が多く、受け入れが少ない(2013-14年度に変更予定)。

3) 青少年交換学生 [RI]

高校生を主とした「異文化体験」「ロータリー親善大使」を目的とする1年間の高校留学とホームステイ。来日学生は毎年150人余り（派遣数もほぼ同数）。全体では毎年8000-10,000人の学生が参加

4) 米山記念奨学生 [財] ロータリー米山記念奨学会]

日本独自の多地区合同奉仕活動として、在日外国人留学生の支援を行う（日本人留学生の派遣はない）。毎年800人の留学生が採用され、日本のロータリアンとの交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てる。（規模13-14億円）

米山記念奨学会の歴史

①奉仕の人「米山梅吉」(1868-1946)

- ・大和国高取藩和田氏の三男として東京に生まれる
- ・幼少にして父と死別、中学生まで母の故郷静岡県長泉町で過ごす。
- ・1983年（16歳）、上京、働きながら勉学に励む
- ・1987年、米山家に養子として入籍
- ・同年渡米（20歳）、8年間の苦学の留学生活を送る
- ・帰国後、文筆家を志し、勝海舟に師事
- ・三井銀行入行、常務取締役となる

②日本のロータリーの創始者

- ・1917年、政府派遣財政経済委員の一員として渡米
福島喜三次（三井物産現地法人支配人、ダラス RC のアディショナル正会員）のゲストとしてダラス・クラブの例会に出席
- ・1920年、福島はアルバート・アダムス RI 連合会長から日本に RC を年内に設立することを条件に特別代表の任命を受け、米山梅吉と共に奔走するもメンバーが集まらなかった。
- ・エスタス・スネデコル RI 連合新会長は、パシフィック郵船横浜支店長ジョンストンを共同代表に任命して拡大の協力を命じた。

- 1920年9月1日、設立準備会
- 同10月20日、チャーターメンバー25名が集まって、銀行クラブで創立総会が開催され、東京クラブが誕生した。
- 1921年4月1日、RI正式認証
初代会長；米山梅吉（三井銀行重役）
幹事；
福島喜三次（三井物産副支配人）、伊東米治郎（日本郵船副社長）
樺山愛輔（日本製鋼社長）　　、小野英次郎（興業銀行前総裁）
当初は例会は月1回、奉仕哲学には真摯であったが、クラブ組織としての管理運営は不十分であった。
- 1923年9月1日、関東大震災
- 同9月4日にはRI会長ガイ・ガンディカーから励ましの電報
同5日、RIから25,000\$震災復興資金送金の通知
世界503カ国のクラブより合計89,800\$の義捐金がよせられた。
- 全世界のロータリアンの友情と援助が東京クラブに大きな影響を及ぼした。東京クラブはこの義捐金で、東京・横浜の小学校に、備品寄贈、東京孤児院の新築（「ロータリーの家」と呼ばれたが、第二次世界大戦で焼失）、殉職警察官遺族の援助、産科病院再建事業を行った。
- 東京クラブはこのロータリーの友情を契機にして、例会を毎週開催するように改めたとされている。

- 三井信託株）を創立、取締役社長に就任
晩年、財）三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核
・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕した。
はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立した。
- 1946年4月28日、長泉にて死去
- 1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う奨学制度を構想した。

ロータリー米山記念奨学会事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学金事業である。

1) 特徴

①世話クラブ・カウンセラー制度

②日本最大の民間奨学事業

年間奨学生採用数およそ 800 人

事業費 14.6 億円 (2009 年)

累計 15,776 人 (2010 年 4 月現在)

出身国世界 119 の国

2) 寄付金

①普通寄付金 ; 日本の全ロータリアンからクラブを通じて
定期的に寄付されるもの

各クラブで決定した金額 x 会員数分を半期ごとに送金

2009 年度平均 ; 4,517 円

②特別寄付金 ; 個人・法人・クラブ (ロータリーも含める)
から、普通寄付金以外に任意で寄付されたもの

2009 年度平均 ; 9,958 円

3) 寄付に対する表彰制度

①個人寄付への表彰

累計額 10 万円毎に「米山功労者」 ; クラブ 36 名

(2010-11 年次報告書)

②法人寄付への表彰

③クラブの表彰

「米山功労クラブ」 (すべての特別寄付金が対象) ;

累計 100 万円毎に ;

米山記念奨学会関係特別会計から特別寄付 10 万円

を含めて 34 万円 (2009-10 年度)

「達成クラブ」 (普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象)

累計 1,000 万円毎に ; 18,755,500 円 (2010 年 7 月 1 日現在)

＜ロータリー財団委員会＞

監督（調整）；国際奉仕委員長松永茂夫

委員長；松野敏、副委員長；九鬼義弘、小野智範

この委員会は、財政的寄付およびプログラム参加の両面からロータリー財団を支援するための計画を立案、実施する。

（岡崎城南 RC 細則）

＜2011-12 年度 RI 会長のクラブに対する奨励事項＞

- ・年次プログラム基金への 100 % の参加（2011 年 7 月 1 日から 2012 年 3 月 31 日までの間に、すべての正会員が個人的にいくらかの金額を寄付）
- ・年次プログラム基金へのクラブの寄付において、少なくとも一人あたり平均 100 米ドル

＜2011-12 年度 RI 会長の国際奉仕部門における活動の奨励事項＞

- ・R 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 小野進一

- ・「毎年あなたも 100 ドルを」の継続的な事業の周知をはかる
- ・地区補助金制度の活用及び推奨の徹底をはかる
- ・地区ロータリー財団委員会に卓話をお願いする

<年度目標>

- 1) R 財団の歴史、構成、RI との関係、活動状況を明らかにする
新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す

- 2) R 財団年次寄付への会員 100%の参加を要請する
(金額は問わず)

- 3) 同基金（年次寄付）へのクラブ寄付において、
少なくとも一人あたり平均 100 米ドルを目標とする
年次寄付” 毎年あなたも 100 ドルを”

- 4) R 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する
(新世代奉仕として参加予定)

- 5) その他
 - ・ RI 長期計画の少なくとも 1 つの重点分野に関連する国際奉仕プロジェクト（持続可能）を遂行する

2011年2月2日(水)ロータリー財団システム管理セミナー
(次年度の為の財団セミナー)

出席；次年度会長・幹事・財団委員長(松野敏)

14:00-18:00、懇親会

I) 財団寄付額(2010.7.1.-2011.12.31、RI2760 地区クラブ別一覧表)

・年次寄付；”毎年あなたも100ドルを”

年次寄付は、寄付の基盤であり、使い道を指定することなく、
ロータリー財団に寄付するもので、3年後に全額使われる。

本年度6カ月間の岡崎城南RCの合計；5,519.51\$

(目標75人計算7500\$)

100\$53名、2010年まで1\$82円(2010.12.27送金)

3名、2011年から1\$84円(未送金)

RI 2760 地区82クラブ本年度6カ月間の合計；

499,831.39\$(1\$84円計算、41,985,836.76円)

13クラブが前期末納、これを除き69クラブとして

平均1クラブ当たり7243.9\$

RI2760地区会員数4841名、1クラブ当たり平均59名

”当クラブは会員数は多いが、年次寄付の集まりが遅れている。”

- ・使途指定寄付(提唱者寄付金、ポリオ・プラス基金、
ポリオ・プラス・パートナー、
ロータリー・センター・プログラム寄付など)

あらかじめ使い道を決めて寄付するもの

ポリオ・プラスがその代表例で、経口ポリオ・ワクチンを世界で
20億人以上の子供達に投与してきた。ポリオと共にハシカ、ジフ
テリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的
とする。ポリオはこのプログラムを開始して以来、現在99%以上
ポリオ減少しているが、ポリオ根絶の成功の鍵を握るのは、残る4
カ国(ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタン)のポ
リオを迅速に撲滅できるかどうかにかかっている。

ポリオ・プラス・プロジェクト” ポリオ撲滅1億ドルチャレンジ”

ゲイツ財団より1億\$ (2007.11月) + 2億5,500万\$ (2009.1月)の寄付があった。ロータリー財団は当初、2008年から3年間の計画で、ゲイツ財団と同額の1億ドルのポリオ撲滅チャレンジを開始し、寄付金の増額により、2億\$のチャレンジとして2012年6月30日まで実施される。ロータリー財団は、総額5億5500万\$をポリオ撲滅活動に提供することとなる。

(ロータリー情報マニュアル 2010 より)

本年度6ヶ月間の合計 ; 253. 13\$

(長野哲也会長、恒久基金の1,000\$の端数)

2010-2011年次計画書ではニコボックスより75,000円の予定

1000円会員数75人(年度当初)

2008-2009年度 ; 77,525円(ポリオ・プラス寄付)

2009-2010年度 ; 76,840円(ポリオ・プラス寄付)

以上年次報告書より

2010-2011年度 ; (事務局2011.2.9送金予定)

・恒久基金寄付 ;

最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にするために、寄付金は使用せず基金として積み立てておき、収益のみが3年後に使用される。

本年度6ヶ月間の合計 ; 1,000\$

(長野哲也会長、ベネファクターの認証)

II) 未来の夢計画

「年次寄付金」+「恒久基金の利息」

- ・国際ロータリー財団活動資金 WF ; 50%
- ・地区ロータリー財団活動資金 DDF; 50%

1) 2010-2011年度新地区補助金の事例発表(8分区)

2) グローバル補助金の用件である「持続可能性」について

＜世界社会奉仕委員会＞

監督（調整）；国際奉仕委員長松永茂夫

委員長；天野邦彦、副委員長；筒井健、太田政信

この委員会は、他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施、成功させるための奉仕活動を行う。

（岡崎城南 RC 細則）

＜2011-12 年度 RI 会長の国際奉仕部門における活動の奨励事項＞

- ・環境を維持するための国連ミレニアム開発目標に取り組む
国際奉仕プロジェクトを実施または支援する
- ・RI 財団の教育的・人道的プロジェクトに参加する
- ・少なくとも1名の会員が、プロジェクト・ボランティアとして
海外で奉仕活動をする
- ・RI 長期計画の少なくとも1つの重点分野に関連する国際
奉仕プロジェクト（持続可能）を遂行する

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前委員長 稲垣裕幸

- ・多くの会員、ご家族のミャンマー訪問が相互理解を深めると思
うの参加者を多数募集する
- ・ミャンマー支援の資金協力
- ・マスコミ各社の活動内容の報道

<年度目標>

- 1) ミャンマー教育支援の記録を再編集し、報告書を作成する
ミャンマー教育支援プログラム；
1999年-2006年（8年間）事業報告書
2007年-2011年（5年間）事業報告書
通年で過去12年間、13回の訪問をまとめる
 - ・例会、HP上で報告する
 - ・会員がこの国際奉仕活動を理解し、またその方向性を再確認する資料とする
 - ・RI および第2760地区に奉仕の実績を示す
 - ・RCの広報活動として、地域の住民にも理解を得る
- 2) 2017年までのクラブの長期目標としての採択を
クラブ・フォーラム（討論会）で確認する
奨学会「KIBOH」終結
クラブからの支援金終了2013年まで
新奨学生受け入れ2012年まで
奨学金支給終了2017年まで
 - ・最長2017年までの長期目標として確認が得られた場合には、クラブ創立25周年を記念して、前述1)の報告書を製本化する
 - ・この活動をRI、地区、他クラブ、一般の人々に広く広報する
 - ・ロータリーのもつ公共イメージを高め、地域に正しく認識されるように努力する
- 3) 少なくとも1名の会員が、プロジェクト・ボランティアとして海外で奉仕活動をする
- 4) その他
 - ・環境を維持するための国連ミレニアム開発目標に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施または支援する
 - ・RI長期計画の少なくとも1つの重点分野に関連する国際奉仕プロジェクト（持続可能）を遂行する

V) 新世代奉仕委員会

委員長；永井量基

「新世代奉仕委員会委員長は、新世代のため諸活動全部に対して責任を持ち、かつ新世代の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。」

「本クラブは、地域社会レベルで新世代が地域の指導者と関心事を話し合い、希望、夢、抱負を表明し、自分と居住地域社会の問題の解決策を探るための討論の場を提供する。」

(岡崎城南 RC 細則)

< 2011-12 年度 RI 会長の新世代奉仕における活動の奨励事項 >

- ・新しいインターアクト、ローターアクト・クラブを提唱
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) の行事に参加する若者を後援する
- ・少なくとも 1 名の青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー平和フェローを派遣するか、受け入れる
- ・1 名以上の元ローターアクターを入会させる
- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

- ・少なくとも 3 つの学校における新世代プログラムに対し、
「四つのテスト」を推進する (職業奉仕の奨励事項)

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 足立修

- ・ローターアクト例会参加；青少年を理解し、彼らの課題を共有することに努め、新世代の健全育成の一助となるように活動する。
- ・小学生対象の体験教室の実施

<年度目標>

1) RI 財団「未来の夢計画」新地区補助金を申請

①「岡崎ふれあいコンサート」を企画

②「奉仕の理想、岡崎城南バージョン」を会員に公募し発表する

- ・ 高校コーラス部員とコーラスに携わる市内の小・中学生
およびロータリアンの音楽を通じた交流
- ・ 地域が誇る岡崎高校コーラス部を支援し、音楽教育レベルの高い
文化都市としてのあり方を提案し、街づくりに貢献する
- ・ RC 広報活動の一環として、新世代とその家族の理解を求める
- ・ ロータリアンの家族が参加する機会とする

2) 新世代「理科の実験教室」の過去の記録を編集する

2000-2001 年度（委員長千賀邦二）；「新世代委員会」の開始

2001-2002 年度（委員長山本剛司）；

2002-2003 年度（委員長松野敏）；発案者

「新世代に思いやりの心を育てる」

自らが考え自らが行動する力を養ってほしい

第 1 回；2003 年 2 月 15 日（土）、竜美ヶ丘小、理科実験室

広報；中日新聞、東海愛知新聞に掲載、事業費；100,000 円

2003-2004 年度（委員長佐々木靖史）

第 2 回；2004 年 2 月 11 日、広幡小、5-6 年生、50 名

講師；岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 長谷部教室

内容；生物の遺伝、DNA 抽出実験他

2004-2005 年度（委員長鈴木豊）；

第 3 回；2005 年 2 月 26 日、根石小学校 5-6 年生父兄、約 40 名

講師自然科学研究機構分子科学研究所、名誉教授木村克美博士

「分子の模型作り・空気の重さ・マイナス 200 度の世界その他」

2005-2006 年度（委員長天野賢一）

第 4 回；2006 年 1 月 27 日、三島小学校、

「理科体験教室（特別事業）」、
講師；自然科学研究機構分子科学研究所
2006-2007 年度（委員長牧勝）；
第 5 回；2007 年 1 月 29 日、六名小学校 6 年生 60 名
講師木村克美博士「分子の世界」

2007-2008 年度（委員長井上武彦）
第 6 回；2008 年 3 月 7 日、矢作南小学校 6 年生、化学マジック
2008-2009 年度（委員長磯部亮次）
第 7 回；矢作南小学校、
講師；愛教大教授・ゼミ生「化学の体験教室」

2009-2010 年度（委員長倉橋保）；
第 8 回；羽根小学校 4 年生 125 名
「わくわく科学実験教室」、実験科目 10 種類
(以上年次報告書)

2010-2011 年度（委員長足立修）；
第 9 回；「おもしろ理科実験教室」
① 2011 年 2 月 24 日、福岡小学校 5 年生 77 人と教諭
「おもしろ理科実験教室」
講師；岡崎市理科教科指導員、荻須文裕教諭
「第一回化学技術に関する論文コンクール優秀作品賞」受賞者
② 2011 年 3 月 9 日、城南小学校 5 年生約 80 人
「訪問科学実験教室わくわく 2010」
講師；岡崎市理科教科指導員、荻須文裕教諭
愛教大教授・学生の参加
(東海愛知新聞)

3) 新世代「理科の実験教室」の継続と実施

- 「少なくとも3つの学校における新世代プログラムに対し、
” 四つのテスト” を推進する (RI 会長職業奉仕の奨励事項)」
- ・理科の実験を、実際の受験教育上でも理解の手助けとなるような項目を入れる (摩擦、浮力、重力など)
 - ・タイムリーなものを取り上げる (太陽光、節電、津波、放射能等)

4) 「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) の行事に参加する若者を後援する (RI)」

5) 「1名以上の元ローターアクターを入会させる (RI)」

元ローターアクターの名簿を調査し、入会候補者のリストを作る

6) その他

- ・新しいインターアクト、ローターアクト・クラブを提唱
- ・少なくとも1名の青少年交換学生、国際親善奨学生、ロータリー平和フェローを派遣するか、受け入れる
- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

各ロータリアンの責務は、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。

新世代の基本的ニーズ（健康・人間の価値・教育・自己開発）を支援するプロジェクトに着手するように奨励されている。

（ロータリー情報マニュアル）

青少年プログラム

新世代のための RI 常設プログラム

- ・ インターアクト（Interact） ;14-18 歳
- ・ ローターアクト（Rotaract） ; 18-30 歳
- ・ ロータリー青少年指導者養成プログラム
RYLA（Rotary Youth Leadership Awards） ;14-30 歳
- ・ ロータリー青少年交換（Youth Exchange）

指導力開発活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者による望ましい変化を評価する。

岡崎 4RC の比較（2010-2011 年度）

- 1) 岡崎 RC ; インターアクト委員会、
青少年委員会（RYLA）
- 2) 岡崎南 RC ; インターアクト委員会
体育振興委員会
- 3) 岡崎東 RC ; インターアクト委員会
- 4) 岡崎城南 RC

補足)” 新地区補助金”

「未来の夢計画」は、ロータリー財団が 2017 年に創立 100 周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画として立てられた。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

「世界でよいことをしよう」という新しい標語が、ロータリー財団管理委員会、RI 理事会、規定審議会によって承認された。

未来の夢計画の主たる目的；

- ・ 手続きを簡素化し、地域ニーズに迅速に対応する。
- ・ 世界の優先的ニーズに焦点を絞り、持続可能で大規模なプロジェクトを推進する。
- ・ 奉仕の成果をもっと確実なものにする

パイロット地区による試行期間；2010-11 年度から、3 年間試行
新補助金制度のスタート；2013-14 年度から全世界で完全実施

新地区補助金の全般的基準と条件

①基準

- ・ すべての新地区補助金は、ロータリー財団の使命を守ること。
- ・ ロータリアンの直接参加を含むこと。

②条件

- ・ 補助金を律する条件を守る
- ・ 財団または RI に補助金授与以外の責任を負わせないこと
- ・ 法令を守り、個人または団体を傷つけないこと
- ・ 承認された活動だけに資金を使うこと
完了または開始したプロジェクトには補助金を授与しないこと
- ・ 補助金参加者について定められている Conflict of Interest（利害の衝突）の方針に従うこと
- ・ ロータリー・マークを適切に使用すること

” 新地区補助金申請書”

ロータリー財団「未来の夢計画」説明会が 2010 年 11 月 25 日岡崎竜美ヶ丘会館にて行われた。すでに本年度から始まっている 3 年間の試行期間であるが、パイロット地区に指定された第 2760 地区の一クラブとして次年度も、新地区補助金を申請することを協議事項として提案する。

社会奉仕および新世代奉仕教育的プロジェクトとして音楽教育環境整備支援事業を別紙のように計画したい。

岡崎市では以前より、周辺の地区に比べて、小・中学生から高校生に至るまで音楽教育特にコーラスの活動が盛んである。この中で 40 数年国内のみならず国際的な高い評価を得ているのが、愛知県立岡崎高等学校コーラス部（指導；近藤恵子先生）である。先日の卓話にもあったように「世界一」に 3 度輝くという快挙を達成した岡崎市民が誇りに思う高校生たちである。

しかし、県立高校であり、音楽教育の環境整備は必ずしも恵まれているとは言えない。中でも夏休みの集中練習時には、3 階の音楽室は、空調が完備されていないために環境は劣悪となり、今年の猛暑には体調を崩す生徒も少なくなかったという。が、この点に関してはこのプロジェクトの提案を契機として次年度より PTA による支援が行われ、改善されることとなった。

また、各パート練習に際してはハーモニー・ディレクター、個人練習用 CD・DVD の作成には 100 名のクラブ員に複数同時対応が可能となるデュプリケーター、合唱台としての折りたたみベンチなどが不足している。

ロータリーとの関係は、貢献度も高く、過去には名古屋ウエスティンホテルで行われた地区大会において「奉仕の理想」を混声合唱に編曲、その演奏を披露していただいた記録がある。全国でもトップクラスの大学合格率を誇る多忙な高校生であるが、次年度の「未来の夢計画」として申請予定の「岡崎ふれあいコンサート」に協力

を要請したいと思う。

コンサートには、岡崎の小・中学生を招待し、岡崎高校には練習の一部を公開していただき、指導によって完成度が高まる様子や表現力の豊かさなどを目前に見聞きすることによって、小・中学生の感性にはどのような開花がみられるであろうか。また音楽教育に携わる指導者や生徒間の交流により地域の音楽の向上に繋がるように望みたい。

さらに我々ロータリアンも地域の合唱団の一員として参加し、音楽を通じてのマナー教室、個々の表現力と他の尊重から生まれる「調和とハーモニー」を体験したい。当日までに近藤恵子先生の編曲による「奉仕の理想」岡崎城南バージョンを完成させ、同コンサートにおいて発表に至ることができるよう全員でチャレンジしたい。この機会に何らかの感動が得られ、これらを携えてロータリー活動に励むことができるように望みたい。

＜ローターアクト委員会＞

監督（調整）；新世代奉仕委員長永井量基

委員長；小野進一、副委員長；天野賢一、小島邦男

この委員会は、ローターアクトの運営テーマの基、提唱する奉仕活動の全面的な支援を行う。

また奉仕活動を通じ、ロータリアンとローターアクトの親睦交流を深めると共に、現状のローターアクト活動についても検証し、より良い活動方法を探求する。

（岡崎城南 RC 細則）

＜前年度方針・具体的計画案＞ 前年度委員長 鈴木豊

- ・ローターアクトの活動を支援する
- ・ローターアクトの会員増強に努め、ロータリアンに呼びかける
- ・ローターアクトの例会、各行事への参加

＜2011-12 年度 RI 会長の新世代奉仕における活動の奨励事項＞

- ・新しいインターアクト、ローターアクト・クラブを提唱
- ・1名以上の元ローターアクターを入会させる
- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

＜年度目標＞

1) ローターアクトの歴史と過去の活動状況を報告する

新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す

2) 「1名以上の元ローターアクターを RC に入会させる (RI)」

元ローターアクターの名簿を調査し、入会候補者のリストを作る

3) その他

- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

< RYLA 委員会 >

監督（調整）；新世代奉仕委員長永井量基

委員長；小林通利、副委員長；佐々木靖史、中根啓弐

RYLA（Rotary Youth Leadership Awards）

この委員会は、地区で実施されるセミナーや指導者キャンプなどにより、ロータリアンは、地元地域社会の若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことに力を尽くす機会を作りロータリー青少年指導者養成プログラムに協力する。

（岡崎城南 RC 細則）

< 前年度方針・具体的計画案 > 前委員長 志貴一仁

- ・ロータリー青少年指導者養成プログラムの意義を広報
- ・RYLA セミナーへの参加（2011年2月26-27日）

< 2011-12 年度 RI 会長の新世代奉仕における活動の奨励事項 >

- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の行事に参加する若者を後援する
- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう

< 年度目標 >

1) RYLA の歴史と過去の活動状況を報告する

新入会員に概要を解説し、会員には問題点と打開策を示す

2) ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の行事に参加する若者を後援する

3) 元 RYLA 会員の名簿を調査し、入会候補者のリストを作る

4) その他

- ・「Million Smiles A Day」キャンペーンに青少年を招く
- ・青少年に環境維持プロジェクトに参加してもらう